

坂戸市版スーパー・シティプロジェクト【多世代が暮らし続けられるコンパクトなまちづくり】

概要	人口減少と高齢化が見込まれる本市のまちづくりにおいて、利便性が高く、多世代の人で賑わう拠点づくりを進めている北坂戸地区を中心に、空き家や空き店舗を活用した地域の賑わい創出や、子育て世代の定住促進など、多様な世代の人が集まる取組を進めることで、持続可能なまちづくりを目指す。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少等により、UR団地等の都市基盤が有効に利用されなくなっている。 ・人口減少等に伴う大型商業施設や個人商店の撤退により、まちの賑わいが低下している。 ・少子高齢化の進行、地縁的なつながりの希薄化により、地域の安全・安心の低下が危惧されている。

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	多世代が暮らし続けられるコンパクトなまちづくり	長期 (10年)	<ul style="list-style-type: none"> ・北坂戸駅前等の公的ストックを活用し、多世代交流拠点を含む都市機能の集約 ・どの世代も歩きたくなる健康回遊ネットワークの形成 ・空き家や空き店舗、低未利用地等を活用した、地域の賑わい創出や若者、子育て世代の定住促進 	・駅周辺の整備
スマート	ICT技術による市民の利便性向上	中期 (5年)	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画情報や各ハザードマップなどを参照できるシステム「e-マップさかど」の利用促進 ・デジタルサイネージ等を活用した公共交通、災害、観光、地域イベント等の情報発信 ・スマート技術を活用した市民窓口サービスの向上 	・デジタルサイネージの導入・運用
レジリエント	大規模災害に備えた地域における防災拠点の機能強化と脱炭素化の推進	中期 (5年)	<ul style="list-style-type: none"> ・各拠点への太陽光発電システム、蓄電池及びEV等の整備 ・各拠点への地域の特性を踏まえた防災機能の整備 	・太陽光発電システム、蓄電池等の導入・運用

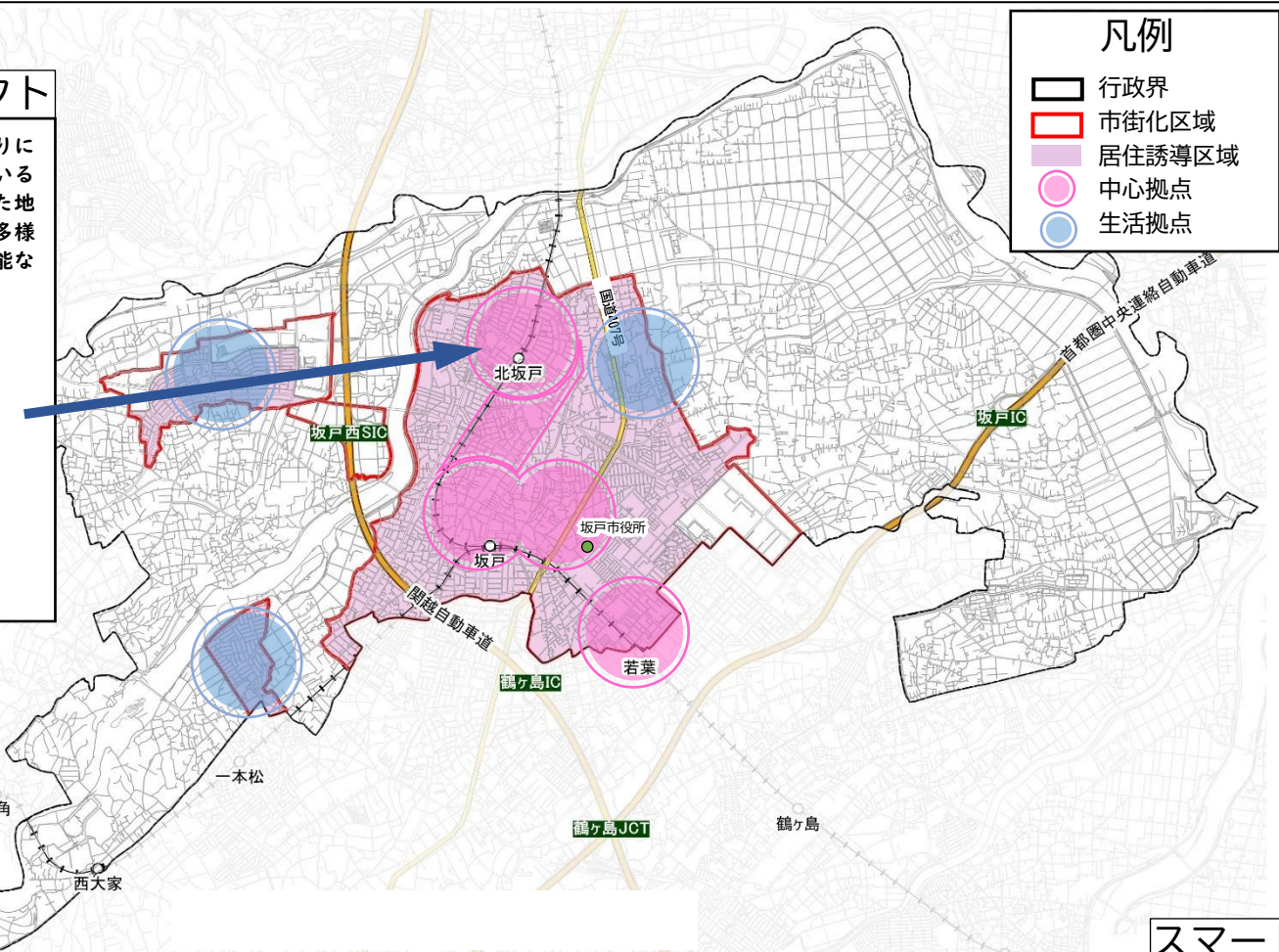
坂戸市版スーパー・シティプロジェクト【多世代が暮らし続けられるコンパクトなまちづくり】

コンパクト

人口減少と高齢化が見込まれる本市のまちづくりにおいて、多世代の人で賑わう拠点づくりを進めている北坂戸地区を中心に、空き家や空き店舗を活用した地域の賑わい創出や、子育て世代の定住促進など、多様な世代の人が集まる取組を進めることで、持続可能なまちづくりを目指します。



- ### 凡例
- 行政区
 - 市街化区域
 - 居住誘導区域
 - 中心拠点
 - 生活拠点



レジリエント

令和元年度台風第19号により多くの住民が被害を受けた教訓を踏まえ、大規模災害に対する強靭性を確保するため、各拠点において太陽光発電システムや蓄電池の整備など、防災機能の強化を図ります。



【公共施設のEV充電施設】



【太陽光発電設置施設】

スマート

地理的、空間的な制約の無いデジタル技術を活用することで行政サービスや日常生活における利便性の向上を図ります。

都市計画情報や各ハザードマップなどを参照できる地図情報サイトの利用促進



【坂戸市地図情報サイト e-マップさかど】

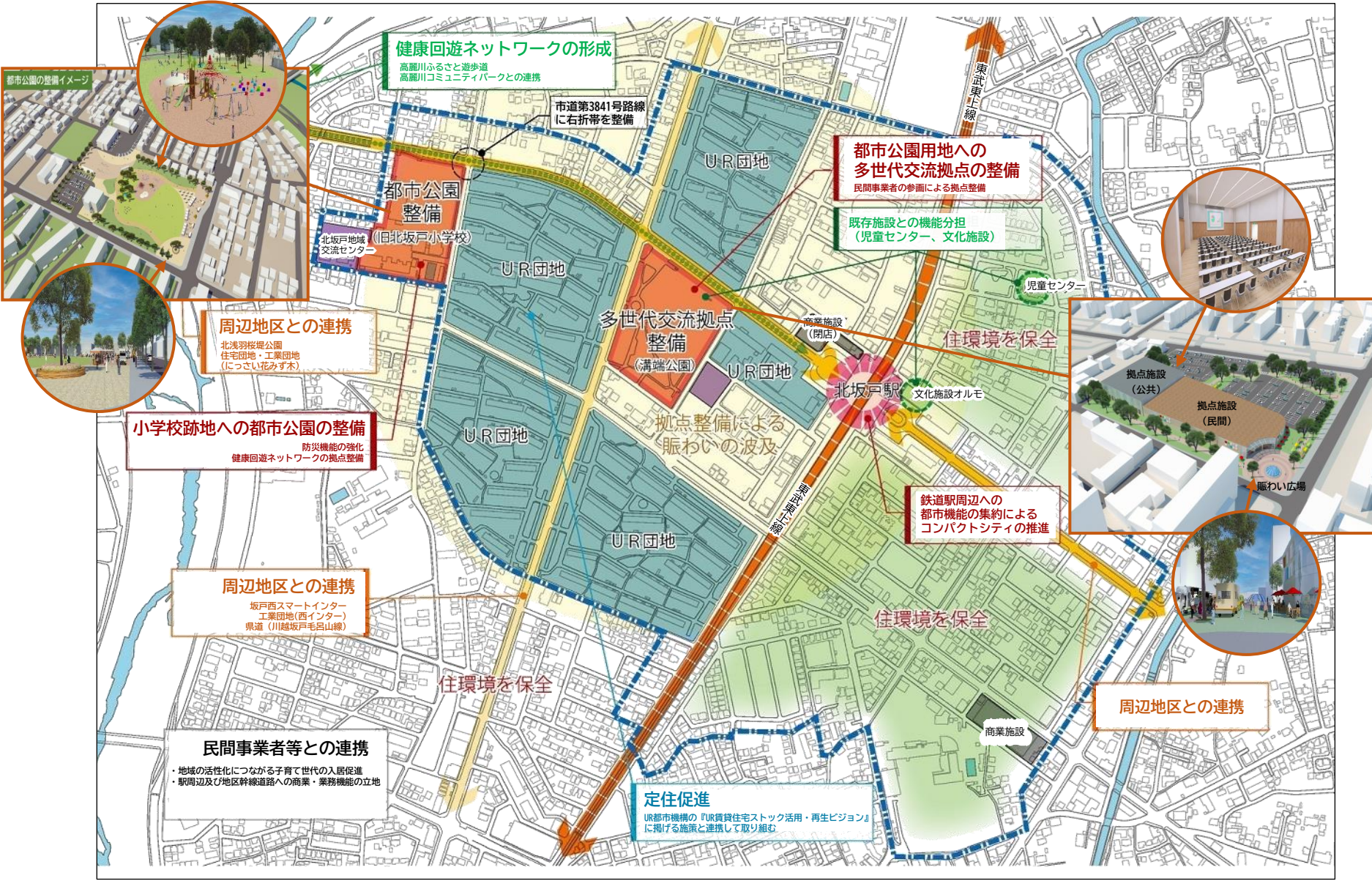
スマート技術による市民窓口サービスの向上



【キャッシュレス決済】

坂戸市版スーパー・シティプロジェクト【多世代が暮らし続けられるコンパクトなまちづくり】

坂戸市北坂戸地区まち・くらし再生事業イメージ



※ このイメージ図は坂戸市独自のイメージであり、関係者と調整により、変更となる場合があります。